

環境政策論 II

2 単位 (選択) 3 年 (後期)

栗栖 聡・教授 / 社会創生学科

【授業目的】 持続可能な社会に向けての環境ガバナンスのあり方を、環境政治・政策学の基本的枠組みの下に理解することによって、持続可能な社会への転換の方向性を把握すること。

【授業概要】 環境問題をまず正義論の観点から、さらに、エコロジズム、エコロジー的近代化、持続可能な発展という三つの分析枠組みの観点から検討する。ついで、環境問題を幾つかの民主主義モデルとの関連で論じ、最後に国家論のレベルで環境問題の意味を探る。

【到達目標】 持続可能な社会に向けての環境ガバナンスのあり方を理解する。

【授業計画】

1. 環境政治・政策学の基本枠組み
2. 環境的正義
3. 生態学的正義
4. 経済システムと自然環境
5. エコロジズム
6. エコロジー的近代化論
7. 持続可能な発展
8. 環境政策統合
9. 環境問題と参加民主主義
10. 環境問題と熟議民主主義
11. 環境問題と結社民主主義
12. 環境問題と市民社会
13. 環境ガバナンス
14. 環境国家
15. 試験
16. 自由主義国家, 福祉国家, 環境国家

【成績評価】 試験

【教科書】 授業中に指示する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220363>

【連絡先】

⇒ 栗栖 (2207-1, 0886567185, kurisu@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL